

CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2024年版 ■使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2024_v1.1

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	姫路市宮庄田住宅(第2期)高層建替	階数	地上5F
建設地	兵庫県姫路市	構造	RC造
用途地域	第一種住居地域	平均居住人員	85 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2029年2月 予定	評価の実施日	2025年8月20日
敷地面積	8,367 m ²	作成者	中田
建築面積	769 m ²	確認日	2025年8月20日
延床面積	2,522 m ²	確認者	中田

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.2 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ホールライフカーボン (温暖化影響チャート)

★☆☆☆☆

標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	98%
③上記+②以外の	98%
④上記+	98%

このグラフはLR3.1「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたWLC排出量の目安で示したものです。④は参考として運用分をBEI+で表示しています。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.0

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.5

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.9

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.4

LR のスコア = 3.4

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.7

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.4

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.8

3 設計上の配慮事項	
総合	<ul style="list-style-type: none"> 住棟内外及び住戸内はバリアフリーとし、高齢者をはじめすべての人への安全性に配慮した。
その他	0
Q1 室内環境	<ul style="list-style-type: none"> 主採光はバルコニー側とし、窓は全面南向とし、十分な日射と通風を確保している。 建材は全てF☆☆☆☆以上を用いる計画とした。
Q2 サービス性能	<ul style="list-style-type: none"> バリアフリーや階高を高くすることで、建物利用者の心理性や快適性を高めるように配慮している。 EVの予備シャフトを確保している。
Q3 室外環境(敷地内)	<ul style="list-style-type: none"> 周辺のまちなみに配慮した景観とし、敷地内に緑化を行うことで、環境に配慮している。
LR1 エネルギー	<ul style="list-style-type: none"> エネルギー消費低減に対して、一般的な建物と同程度の配慮をしている。
LR2 資源・マテリアル	<ul style="list-style-type: none"> 部材の分別や再利用が行いやすいよう配慮している。 リサイクル材を使用する事、部材の再利用可能性向上への取り組み事により資源に配慮している。
LR3 敷地外環境	<ul style="list-style-type: none"> 自転車置場、駐車場スペースを十分に確保し、利用者にとっても分かりやすく、利用しやすい配置になっている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ホールライフカーボン(WLC)」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の温室効果ガス排出量のこと。ここでは、建築物の寿命年数で除した年間温室効果ガス排出量で表示。
 ■評価対象のWLC排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される